

第2回 日進市障害福祉計画検討部会 要旨

開催日：令和2年10月9日（金） 午前10時00分～11時30分

場 所：日進市障害者相談支援センター 大会議室

部会員：ケアマネジメント部会… 改田真美、脇本浩行

就労部会… 伊藤優子、今仲良子

子ども部会… 丸山美希

権利擁護部会… 近藤泉、興梠精視

事務局 介護福祉課… 小塚佳子、稲葉亮

子育て支援課… 川上裕子、信貴朋子

地域福祉課… 野村圭一

健康課… 奥田美紀

日進市障害者相談支援センター… 石川博之、西岡きくの、白井暢子

1 報告事項等

- ・前回のふりかえり
- ・障害福祉計画目次の一部変更について
- ・令和5年度の成果目標（案）
- ・障害福祉サービス等の活動指標（案）
- ・障害福祉サービスの実績と見込（案）について
- ・障害福祉サービスにおける近隣自治体との比較表（参考）

2 議題

（1）令和5年度の成果目標（案）について

【部会員の意見】

1. 福祉施設の入所者の地域生活への移行

- 成果指標の目標値について、「地域生活移行者数」が2人増加していて、「施設入所支援の利用者数」が1人減少しているということは、単純に施設から地域へ移行するだけでなく、新たに施設入所する人などの見込んでいるのか。

→国の指針による算出で各目標値を設定している。

地域生活移行者数…令和元年度末時点の施設入所者数の6%以上

$25 \text{人} \times 6\% = 1.5 \div 2 \text{人}$ （令和5年度の目標値）

施設入所支援の利用者数…令和元年度末時点の施設入所者数の1.6%以上削減

$25 \text{人} \times 1.6\% = 0.4 \div 1 \text{人}$ $25 \text{人} - 1 \text{人} = 24 \text{人}$ （令和5年度の目標値）

- 現実的な目標になるか。市内の法人などにグループホームの計画はあるか？

→人材もなく、話はあがっていない。

→障害者相談支援センターに（市内法人に限らず）建設の問い合わせはあるが、具体

的ではない。

- 地域移行の事業も行っていきたいが、人材やハード面等の課題も多い。福祉事業で使える土地の情報提供などできないか。

- 2. 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築
 - 地域包括支援センターが関わるべきではないか。
→高齢福祉の体系をイメージして、障害版の地域包括ケアシステムとしたのではない。そのため、地域包括支援センターが関わるイメージはなかった。

- 3. 地域生活支援拠点等が有する機能の充実
 - 1行目に「親亡き後」とあるが、それでは遅い。親があるうちに取り組むべき。
→「親亡き後に備える」と書いているように、親があるうちに備えるという趣旨。
 - 緊急時にはまず相談支援に連絡が入る。短期入所を探す際に健康診断をしていないと受入が難しくなるなど課題が多い。

- 4. 福祉施設から一般就労への移行促進等
 - 就労への移行を推すのもいいが、重度障害のような働けない人はどうするのか。
 - 就労支援員は困窮事業と一緒に取り組んだ方がいい。みよし市のような事例もある。
 - 一般就労した状況を把握して検討すべきでないか。

- 5. 障害福祉サービス等の質の向上
 - 計画相談支援は採算が合わない事業。人材面でも身体・知的・精神障害や難病の知識、経験年数がある中堅クラスが必要で、一社会福祉法人が手を挙げるにはハードルが高い。事業を取り組みたい事業者へ支援があるといい。

- 6. 権利擁護の推進

- 7. 障害の早期発見と障害児支援体制の整備
 - 医療的ケア児の数は少なく、ニーズが挙がりづらい。また、医療の関わりが深く、地域のつながりが薄い。
→医療的なケアが必要だが、現場の体制が整っていないことで、学校や保育園に行けないという子がまずは対象と考えている。
 - コーディネーターはどこに配置するのか。
→基幹相談支援センターの相談員を想定している。
→医療に強い相談員が必要。繋ぎ方やコーディネーターの養成はどうか。
→養成研修は県が開催している。
→コーディネーター1人だけで動くというイメージが強いが、チームで取り組んでいくことが重要。

→放課後等デイサービスにも医療的に強い支援員がいるといい。研修の情報が欲しい。

(2) 障害福祉サービス等の活動指標（案）について

【部会員の意見】

- 児童発達支援で最初の支援としてしっかり入っていないと、支援がうまく入らなかったために困難事例となる放課後等デイサービスや生活介護の利用が増えている。